

人的資本経営研究会 第3回ワークショップの開催

人的資本
経営・開示
の理解

開示
準備

開示
実施

会員企業の皆様に、**開示レポート作成ができる状態**となってもらうことを目的として、主にレポート作成作業の詳細内容を実際の標準開示ツールを一部使用しながら説明した。

*人的資本経営とは、**人材を「資本」として捉え**、その価値を最大限に引き出すことで、**中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方**のこと

概要

本研究会では、人的資本経営導入支援の一環かつ年間の大きな取組として、人的資本開示レポートの作成・開示を行った。

当該取組に至った経緯

- 広島県の就業者数や平均労働時間が減少していく長期的な流れの中で、県内企業にとっては、労働生産性の向上が重要な経営課題である。
- こうした背景があり、労働生産性、ひいては企業価値の向上に繋がる取り組みの一つとして人的資本経営導入支援を商工労働局人的資本経営促進課が中心となり支援している。

第3回目ワークショップの内容

① 人的資本開示で意識すべきポイント

開示のメリットをより多く享受し、本質的な人的資本経営の推進につなげていくために、開示作業において意識すべき3つのポイントとその意義や事例をご説明。

② 人的資本開示作業の進め方と標準開示ツール**の使い方

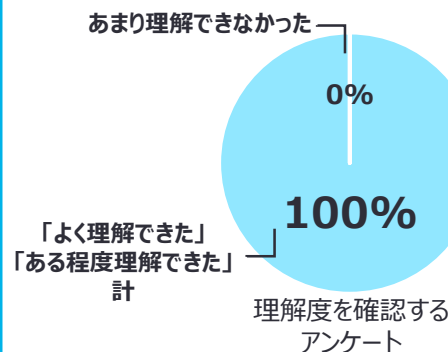
開示レポート作成の詳細手順を、実際のツールを使用しながら説明。レポート作成自体も重要だが、レポート作成をする過程（思考プロセス、社内における対話や気づき等）が大事であることを併せて説明。

③ 開示レポート作成中の支援・レポート作成後の流れ

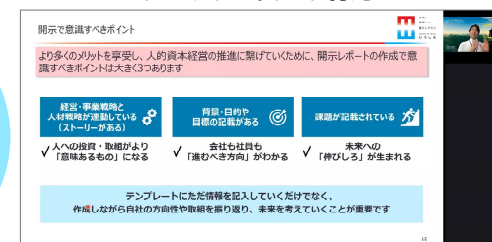
レポート作成中の相談先や相談例をご紹介すると共に、レポート完成後の開示方法や、自社の課題抽出・改善活動に繋げていくための、開示の活動の振り返りの観点等についてご説明。

取組の成果

- 参加者の全ての方に、ワークショップ内容を一定以上理解いただいた。
- 作業のデモ・サンプルの提示など、具体的に作業イメージの付くような詳細説明だけでなく、冒頭に作業中に意識すべきポイントについて、その意義や事例を丁寧にご説明したことが理解に繋がったと思われる。



ワークショップの様子



53社 72名が参加
(オンライン)

今後の予定

- 会員企業はツールを用いて、個別相談等を活用しながら各社11月中旬までの完成を一旦の目標に、開示レポートの作成に取り組む。
- 12～2月にかけて、6～8月に開催した全3回のワークショップと同じ内容で開催し、前期に参加できなかった会員や後期より入会する会員に対し、人的資本経営・開示の理解の醸成から改めて取組んでいく予定。

**研究会事務局が提供している、人的資本情報の取りまとめや開示等をサポートするツール